

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.24
2008.12

くしろ丹頂



北海道乳質改善大賞 受賞

橋村農場

前列左から三男智也くん、三男翔也くん、長男翼くん
後列左から真由美さん、毅哉さん、美和子さん

C O N T E N T S

- 平成20年度 秋季地区別懇談会 ————— 1
- 平成20年度 北海道乳質改善大賞受賞 ————— 2
- イースタンフェアホルスタインショウ・根釧牛乳消費拡大運動 — 3
- 農協法交付記念日にあたって ————— 4
- 普及センターだより ————— 5
- 生乳生産実績・家畜販売市況情報、辞令発令 ————— 6
- 理事会報告、ホクレン音別給油所営業時間変更 ————— 7



農業用廃プラスチックの搬出作業(11/6鶴居)

平成 20 年度 秋季地区別懇談会



カメラ アングル

◀懇談会の様子（音別）



▲懇談会の様子（幌呂）



▲懇談会の様子（白糠）



▲懇談会の様子（鶴居）

10月20日、21日、22日、24日の4日間の日程で、平成20年度秋季地区別懇談会が各地区（鶴居、幌呂、白糠、音別）で開催されました。

堆肥散布など秋の農作業最中にもかかわらず、4日間で59名の組合員方々が参加されました。改めて御礼申し上げます。

懇談会上では、昨今の酪農畜産情勢と今後について他、今年度のクミカン状況推移、下期更正計画に伴う今年度事業の取り組み課題と生産材高騰下への対応、更には今年度農協事業の重点事項となるJA中期経営計画及び地域農業振興計画の素案などについての説明とともに、参加した組合員方々からは下期ふくめた今年度の事業運営や酪農環境対策への意見要望他JA中期振興計画への提言、生乳生産態勢を含めた経営体構築や指導体制への今後をふまえた要望など幅広い意見要望が出され、充実した懇談会となりました。

これら意見要望を集約したうえで理事会において協議検討のうえ、今後精査されていくこととなります。

平成 20 年度 北海道乳質改善大賞 受賞

たけとし 橋村 毅哉 農場（鶴居）

11月18日、北海道厚生年金会館（札幌市）において、北海道乳質改善協議会主催による、第4回・北海道乳質改善大賞の表彰式が行われ、鶴居地区の橋村農場が受賞しました。

この「乳質改善大賞」は、日頃から乳質の重要性を理解し、衛生的乳質に優れた良質乳生産の実践により、技術と経営に優れた酪農家を表彰するもので、地区乳質改善協議会からの推薦により今年は全道で22農場が受賞となりました。

今後も、地域の模範となり、より一層の良質乳生産に努め、安心安全な牛乳を生産し続けていただくことを切望致します。

橋村農場プロフィール

橋村農場は平成14年10月に66床フリーストール牛舎、6頭ダブル・パラレルパーラを建設。施設化以降、乳質が格段に向上した。毅哉（たけとし）さんは「つなぎの旧牛舎ではパイプラインが細かったため口径を太くするなど更新してから10万前後になり乳質が上向いた。パーラに移行してからさらに良くなり、3年前ぐらいから今の体細胞数を保っている」と搾乳機器の変更が乳質アップの一面を担ったと話す。

好結果をもたらしているのは搾乳作業の中心である妻真由美さんの存在が大きい。「ポイントは乳房の張り、赤みと触れたときの状態。見た目で健康状態を判断するほか、乳検データで異常牛を特定。バルク乳データは集乳後すぐに連絡をもらう」と言い、早期に対処するための準備を怠らない。

搾乳手順は①前搾り、②プレディッピング、③清拭（殺菌済みタオルによる1頭1布）、④ミルカ装着、⑤手動による離脱、⑥ポストディッピング。特に清拭は、体細胞が高いなど異常が疑われる分房は最後に行う。また、「乳房炎にかかりやすい牛を把握しておき、乳房に少しでも違和感があれば自動離脱を使用せず、搾り切りを判断し手動で離脱する」と真由美さん。搾乳時の一連の作業の徹底が高乳質に結び付いており「獣医師に聞いたり、経験を積み重ねてきた」結果である。毅哉さんも信頼して作業を任せている。

そのほか、乾乳期前と分娩後には必ずPLテストで検査し、ブツが出ないか確認、早期発見と治療に努める。敷料は牛体の清潔を保つため麦稈に消石灰を振り、朝夕汚れを取り除き、週に1度補充する。

「春から11月末まで午後、放牧するが、汚れ対策に有効」と毅哉さん、真由美さん夫婦。哺育、搾乳作業を手伝う母の美和子さんも協力し、乳質維持に努めている。



パーラ舎周囲には多くの花が飾られ、景観にも配慮。清潔感あふれる橋村農場

■経営概況

乳牛飼養頭数	98 頭（経産牛 58 頭）
生菌数（年間加重平均）	0.1 万／ml
体細胞数（年間加重平均）	5.2 万／ml
年間出荷乳量	468 t
牛群平均乳量	8,825 kg
乳脂肪率	4.51 %
無脂乳固形分率	8.61 %
家畜糞尿処理方式	堆肥舎

■草地面積

牧草地	47ha
デントコーン	5 ha
総面積	52ha

第25回 イースタンフェア ホルスタインショウ

10月18日、第25回イースタンフェア ホルスタインショウが釧路市大楽毛の釧路農協連共進会場にて開催されました。

根釧、網走、十勝管内より25乳牛改良同志会から計90頭の出品牛により資質を競いました。審査員には、アメリカABSグローバル社のラリーシャーム氏が務めました。

当J Aからは、鶴居、白糠、音別の各支部から7農場、計10頭が出品され、審査の結果、リザーブシニアチャンピオンに音別支部の佐藤一哉氏出品牛「ミステイ ストーマテイツク ライル」が選ばれました。

また、グランドチャンピオンには佐呂間町のレークビューン「ダイアモンド スターゲッツ」が選ばれております。

主な入賞牛及び出品者は次のとおりです。



リザーブシニアチャンピオン
ミステイ ストーマテイツク ライル
佐藤 一哉

入 賞 牛				
リザーブシニアチャンピオン				
ミステイ ストーマテイツク ライル			佐藤 一哉	音別
部	結果	名 号	出品者	地区
3部	9位	ウツズスター ゲツケイ ファースト カット	林 稔幸	白糠
5部	5位	ジョハナ FBI ロアンナ	(農)清和農場	鶴居
	6位	ローヤル リツキー ロー	(有)菱沼ファーム	鶴居
9部	3位	エメラルド ローリン コースト ジェスロ	松田 浩二	白糠
10部	1位	ミステイ ストーマテイツク ライル	佐藤 一哉	音別
12部	2位	ウツズスター エンペラー レオボン	林 稔幸	白糠
	4位	リコー メー デニセス マイク	牧野 光雄	鶴居



釧路の酪農をわかりやすく説明する橋村美和子女性部長（鶴居小学校）

この運動は、よつ葉乳業（株）根釧工場運営協力会主催により、飲用牛乳消費低迷が続いているなか釧路地区を代表する飲用牛乳である「根釧牛乳」の消費拡大運動を積極的に進め、地産地消の意識を根付かせる食育を目的に行なわれたものです。

各小学校では、女性部員より、3、4年生を対象に社会学習の一環として「くしろの酪農」（農業改良普及センター作成）冊子を使い酪農を学び、給食時には村内全小中学校生徒5校250名に根釧牛乳を試飲及



学校給食で飲む根釧牛乳は、子供達からおいしいと大変好評でした（鶴居小学校）



冊子を使った食育教育を実施（幌呂小学校）

10月9日、鶴居・幌呂・下幌呂各小学校においてJ Aくしろ丹頂女性部鶴居支部・幌呂支部の部員により、「根釧牛乳」の消費拡大運動が実施されました。

びバターと地場産馬鈴薯を使ったグラタンも同時に試食し、大変好評のうちに終了しました。

根釧牛乳消費拡大運動を実施



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔 章

昭和 22 年 11 月 19 日に農業協同組合法（農協法）が制定され 61 年目を迎えました。

制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性和併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農民法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせて J A の事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会的、経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

今、私たちは 21 世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと石油の高騰、米国発の金融危機、飢餓・貧困、食料問題、地球温暖化・環境問題等が深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。

国内的には市場原理の名の下に行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。

このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期待はますます大きくなっています。私たちは「第 25 回 J A 北海道大会」において、「共に創る 北海道農業と新時代」をテーマに、組合員とともに多くの国民の信頼と支持を得て新たな時代に積極果敢に挑戦する J A を目指すことを決議し、実践しております。北海道農業・J A をめぐる状況は、今後とも W T O 農業交渉、生産資材高騰等厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、J A が地域農業・農村振興の司令塔としての役割を発揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

趾皮膚炎(PDD)を 予防しよう

酪農現場で問題になっている疾病の一つに、「蹄病」があります。その中でも「趾皮膚炎（通称いちご病・有毛いぼ）」が蔓延している例が見られます。

本症は一度発症すると経済的損失が多いばかりでなく、治癒するまでにかなりの時間と労力を費やすこととなります。ですから是非、農場でできる予防対策について考えてみましょう。

◆趾皮膚炎とは？

趾皮膚炎は、原因菌が蹄周辺の皮膚に長時間触れると感染しやすくなります（写真一）。



写真1 趾皮膚炎の患部

感染は主に次のことが要因として挙げられます。

- ① 糞尿などで蹄が汚れていること
 - ② 蹄が湿った状態にあること
 - ③ 牛の抵抗力が落ちている時
- これらの原因が複数重なり、感染や発症のリスクが高まります。

◆農場でできる予防対策

趾皮膚炎を防ぐには、次のような対策が重要です。

- ① 蹄の周りを衛生的に保つ
蹄がふん尿等で常に汚染されると感染リスクが高まります。ですから蹄の周辺は、衛生的な環境下におくように努めましょう。
- ・ 除ふんの回数を増やす。
- ・ オートスクレーパの場合は糞尿をためすぎないように、タイミングを調整する。
- ・ 牛舎内の換気を良くし、通路や牛床を乾燥させる

- ② 牛の抵抗力を保つ
皮膚が健康であれば、病原菌の侵入を防ぐことができます。しかし、ルーメンアシドーシスやカビ毒で牛の体調が悪くなると皮膚の防御機能が低下し、細菌が侵入しやすくなります。
- ・ 粗飼料を腹一杯食える状況を作る。

- ・ 粗飼料にカビが見える場合は、極力給与を避けます。また、カビ毒吸着剤の使用を検討しましょう。詳しくは先月号を参照してください。

- ③ 牛が十分に休息できること
ふん尿の中に長く立ちっぱなしにさせない管理が重要です。
- ・ 十分に敷料を入れる
- ・ 過密にしない。

- ④ 導入牛は状態を確認する
導入牛を既存の牛群に入れる場合は、蹄の状態を確認しましょう。異常がある場合は、洗浄、消毒などの対策をしてから、群に入れましょう。

◆早期発見・早期治療

- ① 早期発見
牛は蹄病になると跛行（背中を丸めて歩くこと）するようになります（写真二 ※写真三は健康な牛の歩様）。特に趾皮膚炎の場合は、つま先で立つようになりま

- ② 早期治療
蹄に異常が見られた場合は、獣医師の診断、治療を受けましょう。
- また、効果が確認されている資材を使用した蹄浴や患部へのスプレーも有効です。その前処理として、蹄の汚れを落とすことでより効果が高まります。

蹄病予防のため、管理作業の中から出来ることから始めましょう。



写真3 健康な牛の歩様



写真2 趾行の様子



■平成20年度 生乳生産実績（10月）

	月計乳量 (kg)	10 月前年比 (%)	累計乳量 (kg)	累計前年比 (%)
釧 路 丹 頂 農 協	8,317,193.6	105.9	59,810,550.8	104.1
（ 鶴 居 地 区 ）	2,697,850.0	106.9	19,459,792.5	106.7
（ 幌 呂 地 区 ）	2,257,962.2	106.9	16,160,825.7	105.0
（ 白 糠 地 区 ）	1,935,999.2	102.7	13,885,094.5	99.8
（ 音 別 地 区 ）	1,425,382.2	106.8	10,304,838.1	104.4
管 内 計	44,341,076.8	102.2	317,790,236.3	102.6
（ 平 成 19 年 度 管 内 計 ）	43,393,932.4		309,761,378.7	

家畜販売市況情報

乳 牛

□予想相場

20年11月現在
(単位：千円)

初生とく

20年11月現在

規 格		登 録 牛	
		上	中
育成（8～12ヶ月）		280	200
初 妊		480～430	430～400
経 産	2 産 ～ 3 産	400	350
	4 産 ～ 5 産	350	300

初 生 と く	規 格	単 価
	6 1 kg～7 0 kg	都度協議
	4 5 kg～6 0 kg	6 0 0 円/kg
	4 0 kg～4 4 kg	5 0 0 円/kg

(提供／ホクレン釧路支所)

20年11月11日音更市場

(価格：円・体重：kg)

黒毛和種

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉 素	メス	490頭	684,600	14,700	333,294	289	1,153
	去勢	667頭	644,700	45,150	411,943	306	1,345

(提供／ホクレン帯広支所)

大変お世話になりました



井上 勝美

幌呂支所購買課
幌呂給油所調査役
10月31日をもって
定年退職しました

この度、平成20年10月31日をもって釧路丹頂農業協同組合を定年退職いたしました。

かえりみますと、昭和44年7月に入組し、39年間で鶴居給油所、下久著呂支所、購買部、ホクレンクーラステーション、幌呂給油所と勤めさせていただき、組合員及び地域の皆様、役職員、各関係機関の皆様方には永きにわたりお世話になり、本当にありがとうございました。

今後とも何かとお世話になる場面が多々あるかとは思いますが、今迄同様ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げまして、お礼の挨拶に変えさせていただきます。

長い間お世話になり、大変ありがとうございました。

(井上勝美さんは、引き続き幌呂給油所に準職員として業務に就きます。)

辞 令 発 令

平成20年10月20日で下記の辞令が発令されました。

氏 名	異 動 後	異 動 前
矢口 昌美	白糠支所 金融共済課 金融係	金融共済部 金融課 金融係
手塚 恵	白糠支所 営農販売課 販売係 兼営農係	白糠支所 金融共済課 金融係
山本 雅代	金融共済部 金融課 金融係	金融共済部 金融課 金融係 兼融資課 融資係
畠山ゆかり	金融共済部 金融課 金融係 兼融資課 融資係	金融共済部 金融課 金融係

平成20年11月1日で下記の辞令が発令されました。

氏 名	発 令 内 容
北村 朋枝	職員に採用する。金融共済部金融課金融係を命ずる。

理 事 会 報 告

10 月 定例理事会

平成20年10月30日（木）

報告事項

1. 諸会議経過について
2. 第3回宮農経済委員会報告について
3. 9月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 農業協同組合の検査結果について

付議事項

- 議案第1号 監事監査の結果に対する回答について
・第1四半期監査への回答事項が承認されました。
- 議案第2号 宮農振興資金の貸出条件の設定について
・平成20年度クミカン精算に係る対策資金取組みが承認されました。
- 議案第3号 大口信用供与先等に対する融資の承認について
・原案通り融資することが承認されました。
- 議案第4号 固定資産の取得について
・鶴居地区・哺育育成センター配備のロールカッター機導入が承認されました。
- 議案第5号 音別白糠地区人工授精業務体制について
・宮農経済委員会経過等と共に協議の下、平成21年4月1日よりの移管体制及び取組み内容が承認されました。
- 議案第6号 諸規程等の設定・変更について

- ・規約及び経理規程、資産査定要領等の一部変更が承認されました。
- 議案第7号 信用事業方法書の一部変更について
・株式会社日本政策金融公庫法の施行に伴う一部変更が承認されました。
- 議案第8号 職員就業規則の一部変更について
・音別支所セルフ給油所の営業時間及び就業時間の変更が承認されました。
※変更年月日は、平成20年12月1日からとなります。

その他協議事項

1. 秋季地区別懇談会における意見・要望等について
・各地区に於ける懇談会意見及び要望等を協議しました。
2. 新たな生乳安定生産対策に係る組織討議について
・第7期目対策（平成21年度～23年度、3カ年実施）の組織討議素案について協議しました。
3. JA役員視察研修について
・実施時期の確認及び研修内容を協議しました。
4. 平成20年度 釧路管内役職員研修会について
・釧路地区組合長会主催とする開催内容と共に参加確認がされました。

11 月 定例理事会

平成20年11月22日（土）

報告事項

1. 諸会議経過について
2. 10月末財務状況について
3. 事業の実施処理状況について
4. JAバンク経営状況報告について
5. 子会社の経営状況について

付議事項

- 議案第1号 農業協同組合検査結果に対する回答について
・北海道常例検査指摘事項に対する対策等回答が承認されました。
- 議案第2号 大家畜資金・農業負債整理関係資金の貸付について
・原案通り融資することが承認されました。
- 議案第3号 大口信用供与先等に対する融資の承認について
・原案通り融資することが承認されました。

- 議案第4号 平成20年度 JA農業経営緊急支援資金の制定について
・原案通り同資金対策による対応が承認されました。
- 議案第5号 関係団体への基金・寄託金の拠出並びに外部出資の返還について
・公益法人制度改革に伴う当該団体への対応が承認されました。
- 議案第6号 (株)ジェイエーコムズ文苑給油所閉鎖に伴う対策について
・原案通り対策対応が承認されました。

その他協議事項

1. 「酪農経営緊急対策事業」の取組について
・要領制定の下、取組むことが承諾されました。
2. その他
・全農飼料対策の内容報告が確認される。

ホクレン音別セルフ給油所
営業時間変更のお知らせ

12月1日より職員就業規則（営業時間及び就業時間）の改正に伴い、ホクレン音別セルフ給油所の営業時間を下記の通りに変更とさせていただきますので、引き続きご利用の程よろしくお願い致します。

●営業時間（通年）

午前7：00～午後9：00

●整備・洗車作業時間（通年）

午前9：00～午後6：00

編集後記
EDITOR'S NOTE

□物価の高騰は、酪農業界にも大きな打撃を与え続けており、また個人の生活にも大きな影響を与えています。これらに対応する方法は、各組合員個々の酪農形態によっても異なり一概には言えませんが、創意工夫にも限界があり、今迄の経営形態や生活方法を部分的に方向転換していくことが必要となってくることもあると思いますし、もうすでに実行している部分もあるものと思われしますが、今後もそういった場面が多々発生してくるものと考えられます。

□酪農経営に関して個人の努力ではどうしようもない部分は、JAをはじめとし、各関係機関が力になれる部分についての積極的な活用が必要になってくるものと思われしますが、農協各関係部署の職員に声をかけて頂ければと職員一同考えております。